

イマズスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル・プロモブチド剤 バッチリ LX (1キロ粒剤 / フロアブル)	取扱メーカー： 協友アグリ 原体メーカー： 住友化学，全農，協友アグリ， 住友化学
成分： イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕0.9% (粒剤)，1.7% (フロアブル) オキサジクロメホン〔オキサジノン系〕0.4% (粒剤)，0.56% (フロアブル) ピラクロニル2.0% (粒剤)，3.7% (フロアブル) プロモブチド〔酸アミド系〕9.0% (粒剤)，16.3% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】 〈共通〉

- ノビエを始めとして一年生雑草，多年生雑草まで幅広く，優れた効果を持つ。
- スルホニルウレア抵抗性雑草にも高い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速く，長期間持続する。
- 温度による効果の変動が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。
- 田植同時処理が可能である。
- 移植直後処理が可能である。

【使用上のポイント】

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ミズガヤツリ	3葉期まで (但し，直播水稲は 2葉期まで)	3葉期まで (但し，直播水稲は 2葉期まで)
ホタルイ	2葉期まで (但し，直播水稲は 発生始期まで)	2葉期まで
ヘラオモダカ		
ウリカワ		
エゾノサヤヌカグサ	—	発生期まで
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期 まで	再生前～再生始期 まで (但し，直播水 稲は発生前まで)
オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで	
コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3cmまで	
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前	—

【薬効・薬害等の注意】 〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- いぐさ栽培予定田では使用しない。また，本剤散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 適用作物（水稲）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 直播水稲栽培では，稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

〈粒剤〉

- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

〈フロアブル〉

- 無人航空機滴下の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】

①バッチリ LX1 キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	移植時	1 kg	田植同時散布機 で施用	1回 ※
	オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで		湛水散布 又は無人ヘリコ プターによる 散布	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※プロモプチドを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

②バッチリ LX フロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ	移植時	500 ml	田植同時散布機 で施用	1回 ※
	ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで		原液湛水散布、 水口施用又は無 人航空機による 滴下	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで		原液湛水散布又 は無人航空機に よる滴下	

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数 : 2回以内